

(様式第1号)

見本

2016年 1月 1日

にじゅうまるプロジェクト事務局 宛

にじゅうまる宣言フォーム (宣言登録・ロゴ使用申請書)

団体名 国際自然保護連合日本委員会

代表者名 会長 渡邊 綱男

「にじゅうまるプロジェクト参加活動規約およびロゴ使用規定」に則り、下記の通り参加登録およびロゴ使用の申請をします。

A. 団体情報

Table with 2 columns: Field Name and Value. Fields include: 団体名(正式)*, 団体種別*, 住所, 代表連絡先 Tel*, 団体ウェブサイト*.

にじゅうまるプロジェクト担当者様

Table with 2 columns: Field Name and Value. Fields include: 担当者氏名, 担当者電話番号, 担当者メールアドレス.

Table with 2 columns: Field Name and Value. Fields include: 参加活動規約への同意, ロゴ使用規定への同意.

B. 宣言アクション情報

Large form table for宣言アクション情報. Fields include: プロジェクト名・行動名*, 該当する愛知ターゲット*, プロジェクト・アクションの説明*, 活動の範囲*, 活動地域, プロジェクトURL*, 活動期限*.

※ 本宣言用紙はにじゅうまるプロジェクトホームページ(http://bd20.jp/)からもダウンロードが出来ます。
※ 項目の右上に*の印がついているものは、Webサイトに掲載・リンクさせていただきます。

| | | | |
|-------|----|--|---|
| 戦略目標A | 1 | みんなが、生物多様性は大切なんだと知ろう。 その気持ちをもって、行動しよう。 |  Project 01 |
| | 2 | 国や地方は、生物多様性に気を配った計画を立てよう。 |  Project 02 |
| | 3 | 生物多様性に悪い制度は、やめよう。やめさせよう。 |  Project 03 |
| | 4 | 環境に無理をさせず続けられる生産と消費の計画を実行しよう。 |  Project 04 |
| 戦略目標B | 5 | 森など、生き物が暮らす場所が失われるスピードを半分まで抑えよう。 ゼロを目指そう。 |  Project 05 |
| | 6 | 魚や貝など水産資源は、これからも無理なく続けられるように漁獲しよう。 |  Project 06 |
| | 7 | 農業・養殖業・林業が行われる地域を、長く無理なく活動できるよう管理しよう。 |  Project 07 |
| | 8 | 化学物質・肥料・農薬は、生物多様性に有害でない範囲まで抑えよう。 |  Project 08 |
| | 9 | 環境に害をあたえる外来種が増えるのを防ごう。入ってこないようにしましょう。 |  Project 09 |
| | 10 | サンゴなど、特に弱い生態系を守ろう。 |  Project 10 |
| 戦略目標C | 11 | 陸地の17%、海の10%は、なにがあっても守る場所に決めよう。 |  Project 11 |
| | 12 | 絶滅危惧種を絶滅から防ぎ、ふつうの種に戻していこう。 |  Project 12 |
| | 13 | 一つの種のなかでも、多様さを大事にしよう。 |  Project 13 |
| 戦略目標D | 14 | 生態系を守り、自然の恵みが子どもや貧しい人々にも届くようにしましょう。 |  Project 14 |
| | 15 | 傷ついた生態系を、15%以上回復させよう。 それによって気候変動や、砂漠化の問題に貢献しよう。 |  Project 15 |
| | 16 | 生物多様性から得られる利益は、国や地域を超えて公正に分配しよう。 |  Project 16 |
| 戦略目標E | 17 | みんなに参加しながら作戦を立て、みんなで実現しよう。 |  Project 17 |
| | 18 | 生き物や自然にまつわる伝統的な知識を大切にしよう。 |  Project 18 |
| | 19 | 生物多様性に役立つ知識や技術を豊かにしていこう。 |  Project 19 |
| | 20 | 活動を支えるために大切な資金を、協力を集め増やしていこう。 |  Project 20 |